

NO 187 泉南走ろう会

連絡先
泉南スポーツ社
0724 (83) 4653

お知らせ

一、例会日

・七月十三日

海会寺 九時集合

コース未定

・七月二十七日

種河神社 九時集合

コース未定

二、夏期合宿について

先月の機関紙の日時を八月一日、二日とお知らせしましたが、一日は全曜日、土曜日となつてしまつたので、八月九日、十日に変更します。知了放下さん、場所については変更ありません、会員の皆、一入の参加をお願いします。

三、大会案内

・七月二十五日(金)に、オ50回富士登山競争が行なわれます。この大会は富士山頂上まで約二十一キロを四時間三十分で走らなければなりません。本大会には走ろう会から真鍋さんと、宮下さんが挑戦されています。今年岡田、西さん、徳山さんの3人が、挑戦することを考えています。なお会長は、高山頂上でまわってくださることになっています。



二十四時間耐久走リレー

田

泉野原会長の発案により、五月四日から五日にかけて泉南走ろう会としては初めての大きなイベントである二十四時間耐久走リレーが、取田水楽ダム周回で行なわれました。朝十時にスタートし無事二十四時間走り抜くことが出来た。今日の行事を行なうに当たって、一番の心配は参加者でしたが、会長、副会長をはじめとして、最近仕事で忙しかたが、例年にも参加できなかった真鍋さんと真鍋さん、それ以外の日、このキロレースに参加された方も、かわらぬ、食料など、色々と準備してくれた石川さん、夜遅くまで車やライトで後方からサポートしてくれた徳山さんの御主人など、総勢十一名で翌日十時三十分すぎに感動のゴールとなりました。

一人は、水楽の、事ある河人が、やれば出来る。これを、二十四時間耐久走リレーとしてやり抜いたこと、走ろう会の結束が一段と強くなったと感じます。時間又は距離が長いほど感動が大いに、この辺に最近のフルタイムマラソンの人気、高まるこの辺にあるのでは、ないか、今度も色々な確信を考へて行きたいと思っております。皆さんの御協力と参加をお願いします。最後に、今回の場所が、水楽ダムから水楽ダムに、変更になったことをお詫言致します。

「水楽ダム24時間リレーマラソン」に参加して

堀池一夫

24時間走るとは、初めどのように完走するのかイメージが湧かなかった。公園に着くとパーベキューをするのかシートを敷いてあちらこちらに人の集まりができていた。まずこちらも24時間走るための基地が必要なためテントを張る。午前十時まず全員で一周する。後は順番を決め一周1950メートルを2周づつ走る。石川さんは前日70キロレースを完走しての参加には驚きだった。今回は細井さん、真鍋さん夫妻も参加し大いに盛り上がった。公園周辺も家族ずれの人達、学生のグループ達で賑わった。一回走ると2時間ほど休憩でき、そのあいだエネルギーの補給である。ビールを飲むと眠くなるので、徐々に賑やかさも収まり、日も落ちてくると辺りは公園以外は暗闇の世界となり気味悪さが漂った。それでも止まるわけには行かない。懐中電灯片手に暗闇の中へ吸い込まれるように突き進んで行く。道路の蛍光標識が点々と光り、前方へ導いてくれる。山間にもかかわらず予想に反して風は生暖かかった。キャンプの側を走るたびに激励や応援の拍手を送る。それが励みになり、もう一周とがんばれる。途中から徳山さんご主人が車で伴走して頂きありがたかった。2時間ほどの休憩の間仮眠しようと思つたが、やはり眠れず夜が明けた。空が白々と明け、ようやく懐中電灯をまたずに走れると、思ったところパラタと雨が降り始めたが、少し降っただけであがった。いよいよゴールの十時が目前となりほぼ全員が最後の一周を走りゴールした。24時間全員で完走。そのときの気持ちは言い表せない。レース後のパーベキューを囲んでの打ち上げには皆さん完走の充実感が溢れていた。来年もこのようなイベントを期待しつつゴールデンウイーク最後の日が終わった。このイベントに応援下さった全ての人に感謝します。

